

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【公表番号】特表2005-528469(P2005-528469A)

【公表日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-037

【出願番号】特願2003-583976(P2003-583976)

【国際特許分類】

C 1 0 L 7/02 (2006.01)

C 0 6 B 45/00 (2006.01)

C 0 6 B 47/00 (2006.01)

C 0 6 D 5/00 (2006.01)

【F I】

C 1 0 L 7/02

C 0 6 B 45/00

C 0 6 B 47/00

C 0 6 D 5/00 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年7月27日(2009.7.27)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1】

酸化剤または燃料としての反応成分の少なくとも一方が標準温度において液体または気体である相を含有するロケット推進のための極低温の単一系固体燃料を製造する方法において、酸化剤としての少なくとも 1 種類の液体または気体相を、相互に連絡された空隙を有する合成樹脂海綿状物の固体構造物中に燃料として導入し、そして上記液相または気相を、固体構造物の内側で、標準温度より下で安定している極低温固体相に凍結によって転化することを特徴とする、上記方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 7】

成分の少なくとも一方が標準温度において液体の相である非常に沢山のロケット推進用燃料が公知である（米国特許第 2, 8 0 2, 3 3 2 号明細書、同第 3, 3 6 7, 2 6 8 号明細書、同第 3, 3 9 8, 2 1 5 号明細書、同第 3, 6 8 7, 7 4 6 号明細書、同第 3, 6 9 7, 4 5 5 号明細書、同第 3, 7 0 3, 0 8 0 号明細書）。米国特許第 2, 8 0 2, 3 3 2 号明細書には沢山のセルで形成されている構造を有するロケット用液体燃料が開示されている。これらのセル中には少なくとも一種類の反応成分が存在している。セル様構造の壁はポリエチレン、テフロンまたはシリコーンゴムより成る。個々のセルは開口によって互いに連絡している。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0036】

ここでは、各成分の位相関係の様々な可能性には立ち入っていない。即ち以下の表のあらゆる場合において海綿状物または堆積物を取り扱うのが適切である限り、たとえ例として上げられていない場合でも、海綿状物または堆積物は重要であり得る。室温で、所定の凝集状態を有する物質を“貯蔵性”と言い、前述の理由の一つから一般に冷却が必要である場合には“極低温”と言う。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0037】

ロケットの固体燃料系において全ての成分がそれらの性質にも係わらず同じ出発温度を有していれば十分である。